

でん粉の国内需給

調査情報部



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。令和7年9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（表1～2。詳細は2025年11月号参照）。

でん粉の需給見通し

【令和6でん粉年度（見込み）】

需要量：240万4000トン（前年度比0.0%減）

供給量：241万8000トン（同0.3%増）

【令和7でん粉年度（見通し）】

需要量：240万4000トン（前年度同）

供給量：241万8000トン（前年度同）

表1 でん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和5でん粉年度 (実績)	令和6でん粉年度 (見込み)			令和7でん粉年度 (見通し)		
			計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月
需要	糖化製品	1,649	765	898	1,662	770	888	1,658
	化工でん粉	236	117	123	241	119	124	243
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	520	230	271	501	230	272	502
	合 計	2,405			2,404			2,404
供給	前年度繰り越し	8			7			14
	国産いもでん粉（生産量）	162	169	—	169	162	—	162
	かんしょでん粉	11	10	—	10	9	—	9
	ばれいしょでん粉	151	159	—	159	153	—	153
	調整金 徴収 対象	コーンスターク	2,083	957	1,112	2,069	960	1,106
	輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	133	69	74	143	70	74	144
	輸入でん粉（その他用）	10	7	9	16	9	9	18
	小麦でん粉	14	7	7	14	7	7	14
	合 計	2,411			2,418			2,418
	次年度繰り越し	7			14			14

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和7年10月～令和8年3月 (見込み)			令和8年4月～9月 (見通し)			令和7でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	2	13	15	2	8	10	4	21	25
		化工でん粉	1	11	11	0	14	15	1	25	26
		その他	3	19	22	2	25	27	5	44	49
		小計	5	43	48	4	48	52	10	91	100
	その他の用途	0	26	26	0	36	36	0	62	62	
	計	5	68	73	4	84	88	10	152	162	
供給	前期からの繰り越し	3	10	14	7	95	103	3	10	14	
	生産量	9	153	162	0	0	0	9	153	162	
	計	13	163	176	7	95	103	13	163	176	
	次期への繰り越し	7	95	103	3	11	14	3	11	14	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用飼料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

9月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2025年9月のタピオカでん粉の輸入量は、1万216トン（前年同月比26.1%増、前月比2.3倍）と、前年同月と比較すると、大幅に増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、台湾、インドネシアおよびオーストリアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ 7701トン

（前年同月比4.8%減、前月比75.7%減）

ベトナム 2508トン

（前年同月輸入実績なし、同97.0倍）

台湾 4トン

（前年同月比53.1%減、同75.8倍）

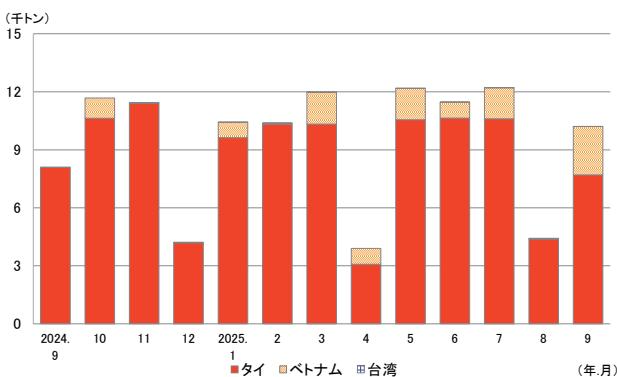
インドネシア 2トン

（前年同月輸入実績なし、同47.0%減）

オーストリア 2トン

（前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、6万915円（前年同月比19.8%安、前月比1.5%安）と、前年同月を大幅に下回った（図2）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 6万815円

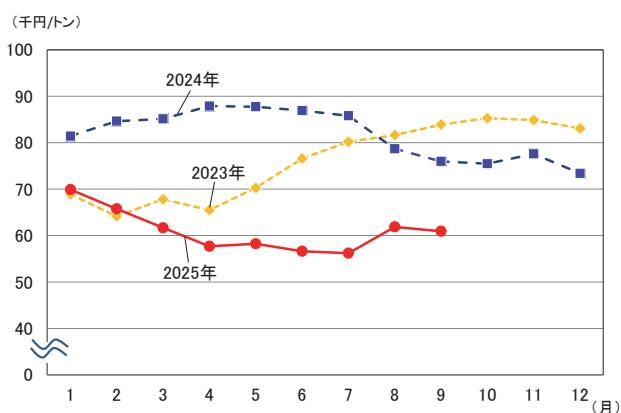
（前年同月比19.5%安、前月比2.3%高）

ベトナム 6万159円

（前年同月輸入実績なし、同65.3%安）

台湾 48万6111円
 (前年同月比0.8%安、同8.7%高)
 インドネシア 17万8500円
 (前年同月輸入実績なし、同67.8%安)
 オーストリア 66万4000円
 (前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、
 1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

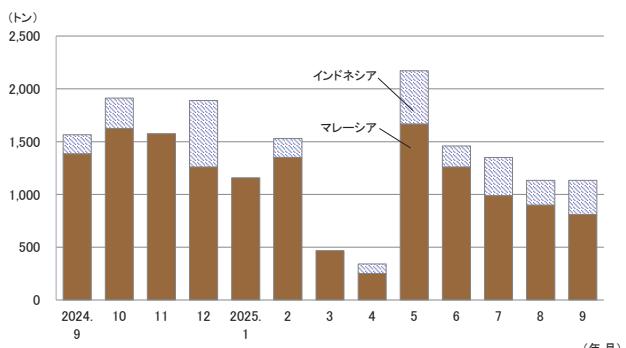
9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年9月の輸入量は、1134トン（前年同月比27.6%減、前月同と、前年同月から大幅に減少した（図3）。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 810トン
 (前年同月比41.6%減、前月比10.0%減)
 インドネシア 324トン
 (同80.0%増、同38.5%増)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

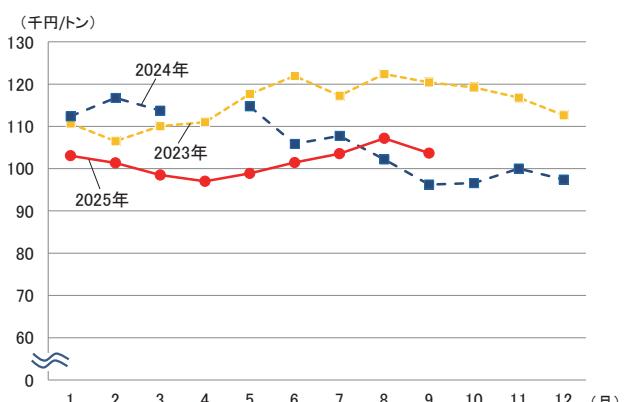
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、
 1108.19-019

2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、10万3655円（前年同月比7.7%高、前月比3.3%安）となり、前年の価格をかなりの程度上回った。（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 10万9548円
 (前年同月比12.8%高、前月比2.2%安)
 インドネシア 8万8923円
 (同0.5%安、同0.2%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、
 1108.19-019

注2：2024年4月は輸入実績なし。

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

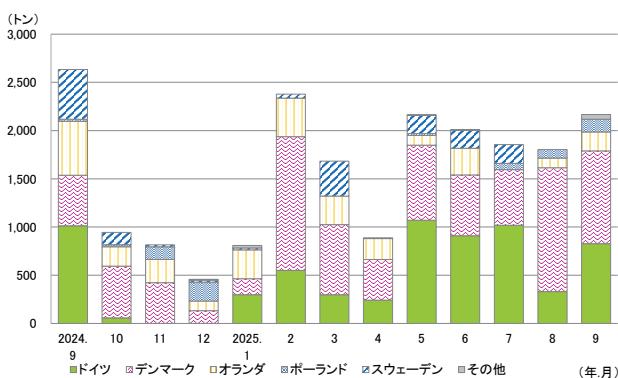
9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年9月のばれいしょでん粉の輸入量は2166トン（前年同月比17.7%減、前月比20.2%増）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先はデンマーク、ドイツ、オランダおよびポーランドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

デンマーク	963トン
	（前年同月比83.7%増、前月比25.0%減）
ドイツ	827トン
	（同18.3%増、同2.5倍）
オランダ	196トン
	（同65.0%減、同96.0%増）
ポーランド	132トン
	（同6.0倍、同50.0%増）

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、18万8563円（前年同月比26.0%高、前月比4.5%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

デンマーク	17万5304円
	（前年同月比12.3%高、前月比0.6%高）

ドイツ 20万6215円

（同36.1%高、同1.0%高）

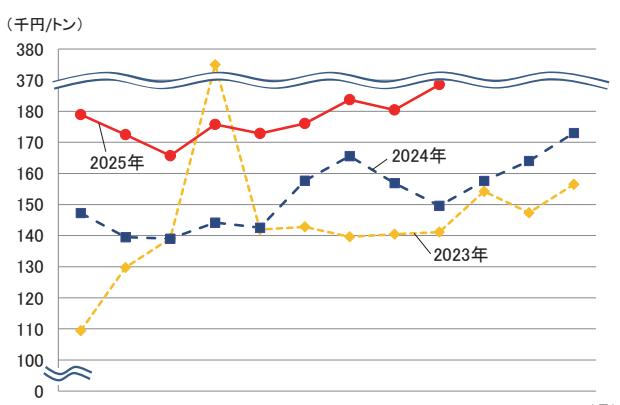
オランダ 20万6592円

（同33.1%高、同1.5%高）

ポーランド 15万3598円

（同1.1%高、前月比1.5%安）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

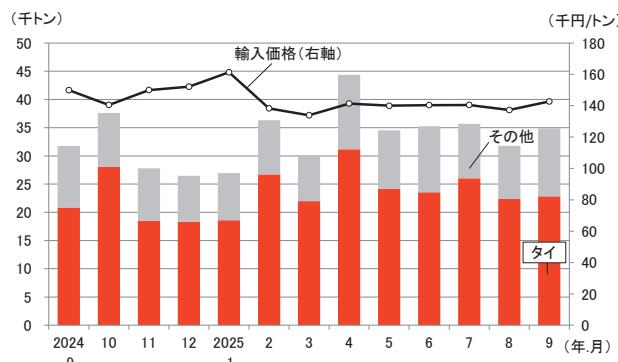
【でん粉誘導体の輸入動向】

9月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2025年9月のでん粉誘導体の輸入量は、3万4875トン（前年同月比9.8%増、前月比9.7%増）と、前年同月からかなりの程度増加した（図7）。

2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、14万2704円（前年同月比4.8%安、前月比3.9%高）と、前年同月をやや下回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

でん粉誘導体の輸入先は18カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の6割強を占めており、次いでベトナム、フランスとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（9月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	34,875	100.0%
うち タイ	22,830	65.5%
ベトナム	3,141	9.0%
フランス	2,147	6.2%
デンマーク	2,056	5.9%
中国	1,223	3.5%
スウェーデン	782	2.2%

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

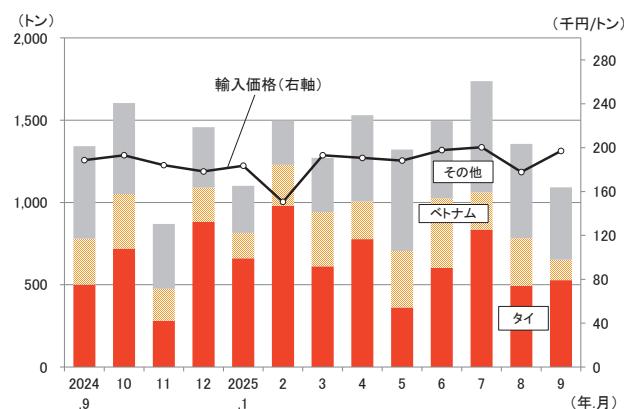
【デキストリンの輸入動向】

9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年9月のデキストリンの輸入量は1093トン（前年同月比18.6%減、前月比19.4%減）と、前年同月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は10カ国・地域となっており、2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、19万7047円（前年同月比4.4%高、前月比10.8%高）と、前年同月をやや上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-200

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムからの輸入は、6割強を占めている（表4）。

表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（9月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,093	100.0%
うち タイ	528	48.3%
中国	166	15.2%
ベトナム	124	11.4%
デンマーク	110	10.1%
アメリカ	68	6.2%
ベルギー	36	3.3%

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-200

【コーンスター用トウモロコシの輸入動向】

9月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2025年9月のコーンスター用トウモロコシの輸入量は25万3279トン（前年同月比19.9%減、前月比6.8%減）となり、前年同月を大幅に下回った（図9）。

輸入先は、米国のみで、輸入量は次の通りであった。

米国 25万3279トン

（前年同月比19.9%減、前月比6.8%減）

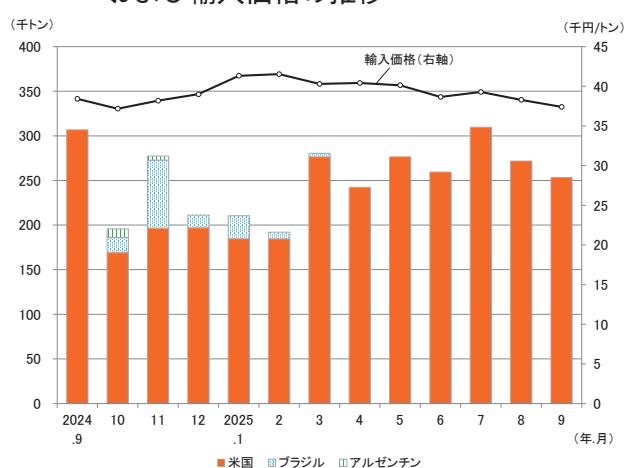
2025年9月の1トン当たりの輸入価格は、3万7402円（前年同月比2.6%安、前月比2.3%安）と、前年同月をわずかに下回った。

米国の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 3万7402円

(前年同月比2.9%安、前月比2.3%安)

図9 コーンスターク用トウモロコシの輸入量
および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1005.90-091